

オンライン服薬指導に関する課題調査について

総合メディカル株式会社 そうごう薬局 北越谷店¹⁾、越谷レイクタウン店²⁾、和合店³⁾、
総合メディカル株式会社 4)
鶴田 将人¹⁾、町田 理紗²⁾、南 佑佳³⁾、末松 善雄⁴⁾

【目的】オンライン服薬指導については、2019 年の薬機法改正、2020 年の 0410 対応、2022 年の診療報酬改定と法的な体制も整えられてきており、サポートシステムも各社から出されている。しかし、電子機器を用いた服薬指導はあまり実施されておらず、その課題を薬剤師自身も認識できていない。そこで今回、オンライン服薬指導に関する課題を明確にすることを目的に、薬剤師を対象とした意識調査を行ったので報告する。

【方法】2022 年 3 月に、そうごう薬局薬剤師を対象としてオンライン服薬指導の「経験」、「システムへの理解度」、「法令への理解度」、「オンライン服薬指導実施に対する意欲」に関する意識調査アンケートを実施した。アンケートのうち、システムおよび法令への理解度については、5 段階で自らの理解度を自己評価で記入し、経験および意欲については有無を確認した。

【結果】意識調査は 166 人に実施し、全員から回答を得られた。116 人 (69.9%) が電話などで服薬指導した経験はあったが、電子機器を用いた服薬指導を行った薬剤師は 1 人であった。システムおよび法令への理解度が低いと回答したのはそれぞれ 49 人 (29.5%)、62 人 (37.3%) であった。93 人 (56.1%) が電子機器を用いた服薬指導を実施したくないと回答したが、したくないと回答した理由は「自信がない」(50 人)、「業務過多」(51 人) であった。

【考察】今回の調査より、オンライン服薬指導に関する課題として、経験者が圧倒的に少ないことを再確認した。また、「自信がない」との回答も多かったことより、システムや法令に対する薬剤師の理解を高めていくことや、事前体験研修も有効だと考える。今後、経験者の気づきを共有することや、継続的に模擬患者対応研修を実施することで、効果的なオンライン服薬指導の方法を検討する。